

AIデータセンタを支える 光トランシーバ技術の最新動向

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2605102>

- ◆日時: 2026年05月26日(火) 10:30~11:40
- ◆【アーカイブ配信受講: 5/27(水)~6/3(水)】の視聴を希望される方は、
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2605102A> こちらからお申し込み下さい
- ◆【WEB限定セミナー】在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆受講料: 1名につき22,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で22,000円(税込)から
 ・1名で申込の場合、**16,500円(税込)**へ割引になります。
 ・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計22,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: CIG Photonics Japan(株) PLM & Marketing部 統括部長 平本 清久 氏

【講演の趣旨】

ChatGPT等の生成系AIの適用が全世界的な広まりを見せる中、データセンタ内のAIクラスタでは800Gbps及び1.6Tbps光トランシーバの適用が急速に進んでおり、さらに3.2Tbps光トランシーバの実現に向けた光部品の開発が本格化している。この高速化のトレンドに加えて光トランシーバに対しては低消費電力化及び低遅延化が強く要求されている。本講演では、高速化、低消費電力化及び低遅延化の3つの要求事項・課題に対して、光トランシーバ業界がどのように対応しようとしているかを、Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)における次世代イーサネット光インターフェースの規格化のトレンド及び光トランシーバの方式・フォームファクタのトレンドの観点から概観する。特に最近低消費電力・低遅延化へ向けたソリューションとして俄かに注目を集めているLinear Drive Pluggable Optics (LPO)型光トランシーバの開発動向と、それがCo-packaged Optics (CPO)の導入に与える影響について解説する。

【プログラム】

- 急速に拡大するデータセンタ市場の背景とトレンド(特徴、要求事項及び課題)
 - 1-1 高速化
 - 1-2 低消費電力化
 - 1-3 低遅延化
- 次世代超高速光トランシーバの最新動向
 - 2-1 800GbE/1.6TbE規格の最新動向
 - 2-2 1.6Tbps超への見通し: 3.2Tbps, 6.4Tbps, 12.8Tbps, 25.6Tbps
 - (1) 光インターフェース高速化(3.2Tbps)のアプローチ
 - (2) 3.2Tbps用光デバイス技術
 - (3) 3.2Tbps光トランシーバの光・電気インターフェース及びフォームファクタ
 - (4) 3.2Tbps超高速光トランシーバ実現に向けた取り組み
 - 2-3 低消費電力・低遅延化へ向けた光トランシーバの最新動向
 - (1) Linear Pluggable Optics (LPO)
 - (2) Co-packaged Optics (CPO)
 - (3) 低消費電力化のロードマップ
 - (4) LPO/CPO普及の見通し
- まとめ

『光トランシーバ』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< LIVE / アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送